

58回生の願い叶わず



特別版

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2022

376号

2年生の修学旅行中止
に至った経緯や、実行委
員に今の思いを取材
しました

中止の経緯を詳しくインタビュー

1月8日(土)に2年生の修学旅行の中止が決定した。今号では、校長先生や実施に向けて尽力した実行委員の生徒への取材の様子をお届けする。

修学旅行が中止になったことは、中止が決定したのは始業を受けて1月17日(月)に、式のあった1月8日(土)の朝、中止にした理由について



「生徒の安全や家庭への負担も考え、この決断をしました」

は「新型コロナウイルス感染症の新規感染者が増加しているためです」と話す。12月は新規感染者数が減少傾向になり、修学旅行を行えるという判断だったそうだが、年末から増加傾向に転じたため、中止せざるを得なくなったという。また、1月7日(金)の東京都知事の記者会見で「今回のオミクロン株は感染力が高く、十分注意してほしい」という話があったことも、理由の1つだという。東京都での感染者の増加に加え、今までは山形県、宮城県でも感染者が増加しており「集団で感染すると、現地で足止めされてしまい、地域医療に負担を与えてしまうかもしれない」ということも懸念事項としてありました」と松林校長先生。また、山形県や宮城県の方から修学

旅行の受け入れに関しての心配の声があったという。修学旅行を中止せざるを得なくなってしまうことについては「次の年には状況が改善されるのではないかと期待があったため、昨年度と同じ時期に修学旅行を計画してしまっことは反省点です」と松林校長先生は語る。「来年は時期を変えざるを得ないと思います」と話した。



5日目「震災語り部バス」にて訪問予定だった福島県の高野会館

修学旅行の代替行事 開催決定

修学旅行の代替行事が、2月2日(水)に開催されることが決まった。今回はHR委員長の郡司駿斗さん(2L)を取材した。

この日は6時間のうち、東北の方とのオンライン交流会、クイズ、ビンゴなどの学年レク、探究学習「locus」をそれぞれ2時間行うという。レクについて「修学旅行で行う予定だったものはできる限りやりたいと思い、決定しました」と語った。ビンゴの景品は東北のお土産を予定しているそう。そして、この日の昼食は、修学旅行4日目に松島で食べる予定だった牛タン弁当を取り寄せることも決定した。牛タン弁当が食べられない生徒のためにほかの種類も用意されている。「東北のグルメを味わいたいという意見が挙がり、先生と協力して決めました」と郡司さん。「今回の代替行事で少しでも良い思い出を作っています」と話した。



代替行事の開催を知らせるポスター

お礼のTシャツも渡せず

修学旅行でスキーのインストラクターの方々に渡す予定だったTシャツのデザインを担当した阿部まな心さん(2E)に取材をした。立候補しようと思った理由について「もともと美術が好きで、クラスでもクラスTシャツ係を担当していました。学年でもそのようなことがあると聞いてやってみようと思ったからです」と話す。Tシャツのモチーフとしたのは「ビー玉」だそうで「この学年は行事があまりできておらず、思い出をつくりたい。夏にビー玉をもらうのが好きだった思い出から連想して、ビー玉をモチーフにしました」と語る。また、デザインをする際に意識したことについては「蔵王は調べてみて綺麗だったので、その美しさをどのようにTシャツに活かすかを意識しました」と話す。業者の方とも直接相談し、色使いなどの話し合いを重ねてきたそう。修学旅行の中止が決定して「先生方も協力してくれていたため、中止になってしまい残念です」と話した。



インストラクターの方に渡す予定だったTシャツ

(麦)

(鳥)

実行委員が思いを語る

新型コロナウイルスの影響による修学旅行の中止を受け、実施に向けて各分野の最前線で活躍した生徒に今の思いを取材した。(2年生共同取材)

用具・集計係 チーフ 赤峰 礼菜さん(2A)



赤峰さんは修学旅行の中止を受けて「中止判断までの経緯を聞いて納得できましたが、58回生は多くの行事がなくなってしまい修学旅行をとっても楽しみにしていたので、やはり残念な気持ちがあります」と話した。

「代替行事を楽しみたいです」 用具・集計係は主にスキー実習時のレベル希望調査やスキー用具の試着の準備、サイズ表の集計を行ったそう。係で集まってスキー用具の試着を準備した際に、みんなが試着しやすいようにスキーウェアのサイズ分けをしたり、靴をサイズ順に並べ直したりするのが大変だったという。

2年生に向けて「これからできる行事の中でたくさん思い出を作っちゃいましょう!」と思いを語った。(千)

しおり係 チーフ 金田 悠花さん(2J)



修学旅行が中止になったことを受けて金田さんは「今まで宿泊行事がなかったので残念です」と語る。しおり係は主に修学旅行のしおりの「生徒ページ」を作成する係だ。金田さんがしおりを制作する際に楽しかったことは、アンケートの内容を考へることだという。「修学旅行には行けなくなってしまったけれど、クイズや心理テストなど、楽しめるページもあるので見てほしいです」と金田さん。特に見てほしいページは蔵王や松島の情報をまとめたページだそう。金田さんは2年生に向けて「修学旅行という高校生活の一大イベントが中止となってしまいましたが、まだ学校生活は続くので、一緒に楽しみながら過ごしましょう」とメッセージを送った。(紅)

PR係 チーフ 大久保 夕彩さん(2D)

「3学期が始まる前からコロナ感染者が増加していたので、修学旅行が中止になるかもしれないとは思っていました」と話す大久保さん。PR係としてClassiの活用やPR方法の議論をするなど、精力的に活動したそう。また、蔵王に関するクイズの作成や下調べをするために、多い時で週に2、3回集まって活動していたという。PR動画はすでに2本配信されており、1月も引き続き作成し、配信する予定だった。「修学旅行が中止になって、配信できず残念です」と語る。



「ぜひクイズを楽しんでほしいです」

大久保さんは2年生へ向けて「PR係としての最後の仕事をやり遂げたいので、修学旅行ができなかった分の代替行事で、是非私たちが作成していたクイズで楽しんでほしいです」と話した。(甘)

HR委員 チーフ 郡司 駿斗さん(2L)

修学旅行の直前での中止を受けて郡司さんは「58回生はまだ大きな行事を実施できておらず、ようやくできると思っていたので残念です」と話す。HR委員会では、これまで、5回程集まり、修学旅行で行うレクの内容を決めていたという。修学旅行では、クイズ大会、ビンゴ、お絵かきを4日目の夜に松島のホテル大観荘で行う予定だったそう。「コロナ禍なので、大声を出さずに楽しめるものを選びました」と郡司さん。種目を決める際に苦労したことについては「やりたいことはたくさんありましたが、コロナ禍のため大声禁止などの規制が多く、実施可能なものの中から決定するのに時間がかかりました」と語った。



「制限の多い中レクを決めるのは大変でした」

また、2月2日(水)に修学旅行の代替行事の開催が決定した。詳細は表面囲み記事で紹介する。(麦)

修学旅行気分を味わおう!! 松島・福島フォトコーナー



命・防災の大切さを伝える
宮城 大川小学校

福島 津波伝承 AR アプリ
震災時の行動や備えについて考える
きっかけになることを願って制作されたアプリ



松島 ホテル大観荘
壮大で美しいロケーションと
おもてなし、ここにあり



大観荘から見る黄昏時



松島中央広場
日本3景といえは
ココ!

写真提供: 上原 啓先生